

振り返りシート

グループ名 ゆり

Q1 今日の清掃活動の感想

普段できないことが体験できた。
雑草を取るときの立場が複雑しい。
外来種も同じ生き物だ。
人間の都合で扱いは勿体ない。
外来種かもと疑問に思うこともある。
東京の自分のいるところでも外来種
外来種が思つたり多い。
外来種を残さないようにするのが大切。
東京にいるときでも実感。

Q2 もし、あなたが環境大臣または県知事、市町村長などの行政VIPだったら、富士山とその周辺地域の外来植物問題解決のためにどんな政策を行いますか？

日本にいられないことが重要。
外来種を止めるようなことをしよう。
逃がしても罰せられることはないか？
育てちゃいけない。
(法律が徹底されてない)
オオキノヒナクを知らない間に育てている人もいる。
キレイなのが"からいいじゃないか"。

Q3 今年16周年を迎える富士山クラブに、今後望むこと

ゴミを捨てないための広報活動に力を入れよう、
文化登録遺産になりました。

振り返りシート

グループ名 カリ2

駆除

Q1 今日の清掃活動の感想

- 初参加、外来種身边に。知識を深めて意識高めよ。
- 今まで駆除活動は意味あるのか、生物多様性の重要性実感。
- "強い" 岩場にも繁殖、人間の力で守らなければ"ならない。
- 身分交換が大変。普段にならない経験ができた。
他の植物を食食するとい萼いた。人の手で守らなければ"ならない。
- 外来種や自然と接することができて良かった。
グローバル化が進んでいてでも、深刻にはそれではなか、こうした活動を授業化すべし。
- 外来種が大豆にくっつくのが意外だった。
- 疲れた、外来種が他の在来種の栄養を吸いついて、驚いた。
- 人が責任感を持て駆除すべし

Q2 もし、あなたが環境大臣または県知事、市町村長などの行政VIPだったら、富士山とその周辺地域の外来植物問題解決のためにどんな政策を行いますか？

→ボランティアや生物多様性について
×科目を少修へも

× 学生が、自然環境問題についての付見を
導入すべし

○ ボランティアや、生物多様性についての
授業を併専科目を導入すべし

○ そして、学生自身が、学生に
自然環境問題についての付見を
導入すべし

Q3 今年16周年を迎える富士山クラブに、今後望むこと

- 広告、宣伝がもっと必要で、
多くの人に気づけてほしい
- 地域活動して、宣伝すべし
- うつて12月
多くの学生が、もと宣伝すべし

振り返りシート

大金鶴菊

グループ名 C-1

Q1 今日の清掃活動の感想

- ① 大金鶴菊の根の張り方から、繁殖力が強いと実感。
- ・斜面などやりにくいところは若者がやるべき！
- ・風が涼しく気持ちよがった。
- ・大人数でとりくめにすぐに終わると思いつか時間がかかり大変、継続した活動の必要性。
- ・見慣れたかわいさ等だけで判断にはキケン、外来種の理解を深める重要性。
- ・取り組みの大変さ、大きさを体感できた。
- ・自分たちが活動した経験や学んだことを發信して、まだまだ知られていない外来種の情報を広めるべき。
- ② 生命力が非常に強い→時間をあけずに継続した活動を、人数が必要な行動で在来種に害をおよぼしていることをもっと 알려べき

Q2 もし、あなたが環境大臣または県知事、市町村長などの行政VIPだったら、富士山とその周辺地域の外来植物問題解決のためにどんな政策を行いますか？

- ・HP等により、外来植物についての情報を公開
- ・学校等の環境教育推進
- ・「自然体感ツアー」等、観光を含めたツアーを組み、人を集めて情報を広める
- ・TV、新聞等のメディアを利用、特集などを組む

Q3 今年16周年を迎える富士山クラブに、今後望むこと

知らない方もまだ多いので知名度がより上がりたいですね！
「私たちが協力します！」

今後も大学との連携を継続してほしいです。

SNSの有効活用

振り返りシート

グループ名 C2

Q1 今日の清掃活動の感想

- ・さつち：まだまだたくさん残っているので今後も頑張っていきたい
- ・マッシー：実際にやってみて、色々やる事はあると感じた。
- ・ひかり：「仲良くなりたい」等の目的でもいいので、もっとボランティアの人増えてしまい
- ・かじさん：色々と問題を発見できて良かった。めんどこがさす。小さなことからコツコツやることが重要
- ・ひろとさん：生態系を守ることは簡単だが、治すことは大変
- ・小島：ボランティア企画がないと、個人でやることは大変
- ・清水：知らないがためにも食べて食べた。今日の活動を他の人に伝えたい。

Q2 もし、あなたが環境大臣または県知事、市町村長などの行政VIPだったら、富士山とその周辺地域の外来植物問題解決のためにどんな政策を行いますか？

- ・ひかり：子供たちに環境教育 → 学生や市民主体の活動（子供にも教える側にもメリット）
- ・最初はモノで釣って楽しさ、大きさを知ってもらう
- ・自分たちに与える影響を伝える
- ・ボランティア増活

Q3 今年16周年を迎える富士山クラブに、今後望むこと

- ・ボランティア増活
- ・情報発信の強化
- ・生物の駆除

振り返りシート

グループ名 C-3

Q1 今日の清掃活動の感想

- 2時間だけだと大変、お金をかけると大変なのでボランティアで、もと人あつめれば良いね
- 草がたくさんあって、深く根がはっていたので大変
- 初ボランティアだったため、自然的にできるのでよかったです
- もと人数が多い。もと活動を発信すべき
- 思った以上に大変、もと広めて人数あつめよう。
- 楽たて思つたけど大変、良い経験になつた。
- 学習したあとでやつたのでよく出来た。

Q2 もし、あなたが環境大臣または県知事、市町村長などの行政VIPだったら、富士山とその周辺地域の外来植物問題解決のためにどんな政策を行いますか？

- 登山料を強制立てると、そのお金で解決出来ることある。
人数をやさる
 - 大学生は人のためにやりたいと考える人が多いので、
ボランティア活動とともに大学に広める。ボランティア側の
人が大学に向いて呼びかけを行うと言ふ！
 - 中学の時はボランティアシールなど、受験に設立
ポイントをつけたりしていた。そのようなポイントを
つければもと若い世代の人々も呼びこめる。
 - 近隣の民宿等に、このような活動に参加できれば
宿泊費を割り引く等のサービスをつけてもらう。
- まずは、外来種
の存在を
呼びかけて
知らせることが
大切
- 市や県が
民宿の人たちを
あつめて集会、
インターネットとかで

Q3 今年16周年を迎える富士山クラブに、今後望むこと

講習会、まずは地元の人々へ、このような活動に
ついて広く呼びかけ、認知度を高めてほしい。
外来種の何が悪いかを伝える。
観光地とも連携して、アピール。